

神経内科

Department of Neurology

教授	田中耕太郎	Kortaro Tanaka
准教授	高嶋修太郎	Shutaro Takashima
助教	田口 芳治	Yoshiharu Taguchi

◆ 著 書

- 1) 田中耕太郎：「看護学学習辞典 第3版」, 1-1698, 学習研究社, 東京, 2008.
- 2) 田中耕太郎：多発性硬化症における対症療法と生活指導の進め方. 「多発性硬化症の診断と治療」吉良潤一編, 198-203, 新興医学出版社, 東京, 2008.
- 3) 田中耕太郎：組織型プラスミノゲンアクチベータ(t-PA)ーアルテプララーゼ静注療法. 「抗凝固薬の適正な使い方 第2版」櫻川信男, 上塚芳郎, 和田英夫編, 385-394, 医歯薬出版(株), 東京, 2008.
- 4) 田中耕太郎：「分子細胞生物学辞典 第2版」村松正實ら編, 1-1184 (分担執筆), 東京化学同人, 東京, 2008.
- 5) 田中耕太郎, 高嶋修太郎 (編集)：「必携 脳卒中ハンドブック」. 1-389, 診断と治療社, 東京, 2008.
- 6) 田中耕太郎：主要脳動脈領域の症候. 「必携 脳卒中ハンドブック」田中耕太郎, 高嶋修太郎編, 8-11, 診断と治療社, 東京, 2008.
- 7) 田中耕太郎：虚血性脳組織障害の機序. 「必携 脳卒中ハンドブック」田中耕太郎, 高嶋修太郎編, 335-340, 診断と治療社, 東京, 2008.
- 8) 田中耕太郎：EPA による脳卒中予防効果について教えて下さい. 「脳卒中診断こんなときどうする Q&A」棚橋紀夫, 北川泰久編, 237-240, 中外医学社, 東京, 2008.
- 9) 島津智一, 荒木信夫, 田中耕太郎：一過性脳虚血発作 (TIA), 84-86, 「必携 脳卒中ハンドブック」田中耕太郎, 高嶋修太郎編. 診断と治療社, 東京, 2008.
- 10) 高嶋修太郎：心原性脳塞栓症. 「必携 脳卒中ハンドブック」田中耕太郎, 高嶋修太郎編, 65-70, 診断と治療社, 東京, 2008.
- 11) 高嶋修太郎：脳の解剖. 「必携 脳卒中ハンドブック」田中耕太郎, 高嶋修太郎編, 2-7, 診断と治療社, 東京, 2008.
- 12) 高嶋修太郎：若年者の脳卒中. 「必携 脳卒中ハンドブック」田中耕太郎, 高嶋修太郎編, 140-141, 診断と治療社, 東京, 2008.
- 13) 高嶋修太郎：頭痛・痙攣で発症し, D-dimer 高値であったことから, 脳静脈・静脈洞血栓症が疑われました. 診断と治療はどうしますか?. 「脳卒中診療こんなときどうする Q&A」棚橋紀夫, 北川泰久編, 145-148, 中外医学社, 東京, 2008.
- 14) 石川達也, 北川泰久, 高嶋修太郎：その他の脳梗塞. 「必携 脳卒中ハンドブック」田中耕太郎, 高嶋修太郎編, 78-83, 診断と治療社, 東京, 2008.
- 15) 田口芳治：呼吸の管理. 「必携 脳卒中ハンドブック」田中耕太郎, 高嶋修太郎編, 186-187, 診断と治療社, 東京, 2008.
- 16) 田口芳治：血圧の管理. 「必携 脳卒中ハンドブック」田中耕太郎, 高嶋修太郎編, 188-190, 診断と治療社, 東京, 2008.
- 17) 田口芳治：CASE02 一過性脳虚血発作を繰り返した 65 歳男性. 「New 専門医を目指すケース・メソッド・アプローチ 神経疾患」鈴木則宏編, 12-27, 2008.
- 18) 道具伸浩：合併症対策. 「必携 脳卒中ハンドブック」田中耕太郎, 高嶋修太郎編, 191-195, 診断と治療社, 東京, 2008.

◆ 原 著

- 1) Dougu N., Takashima S., Sasahara E., Taguchi Y., Toyoda S., Hirai T., Nozawa T., Tanaka K., Inoue H. : Differential diagnosis of cerebral infarction using an algorithm combining atrial fibrillation and D-dimer level. Eur.J.Neurol.,15: 295-300, 2008.
- 2) Tanaka K., Ishikawa Y., Yokoyama M., Origasa H., Matsuzaki M., Saito Y., et al. : Reduction in the Recurrence of Stroke by Eicosapentaenoic Acid for Hypercholesterolemic Patients. Subanalysis of the JELIS Trial. Stroke,39: 2052-2058, 2008.
- 3) Kawai S., Tanaka K., Ohno I., Utsunomiya K., Seino Y. : Safety of long-term tacrolimus therapy for rheumatoid arthritis: an

open-label, uncontrolled study in non-elderly patients. *Modern Rheumatology*, 18: 345-353, 2008.

- 4) Dougu N., Joho S., Shan L., Shida T., Matsuki A., Uese K., Hirono K., Ichida F., Tanaka K., Nishino I., Inoue H. : Novel LAMP-2 mutation in a family with danon disease presenting with hypertrophic cardiomyopathy. *Circ.J.*, 73:376-380,2009. (電子版)
- 5) 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎, 亀田圭介, 野口京: 半球性血流低下を伴う内頸動脈病変における局所脳血流量と神経細胞密度の関係. 富山県臨床核医学研究会記録集, 14: 7-8, 2008.
- 6) 高嶋修太郎: Letters to the Editor. 日本内科学会雑誌, 97: 448-449, 2008.

◆ 症例報告

- 1) Taguchi Y., Takashima S., Tanaka K. : Pramipexole-induced dropped head syndrome in Parkinson's disease. *Internal Med.*, 47: 2011-2012, 2008.
- 2) 高嶋修太郎, 平野恒治, 田口芳治, 道具伸浩, 豊田茂郎, 田中耕太郎: 階段状に進行した心原性脳塞栓症の2例. *臨床神経学*, 48: 656-661, 2008.
- 3) 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎: 橋出血後に認められた両側橋小脳路の Waller 変性. *内科*, 101: 169-170, 2008.
- 4) 田口芳治: 便秘によるイレウスを繰り返した統合失調症に桂枝芍薬大黃湯が有効であった1例. *漢方医学*, 32: 99, 2008.
- 5) 田口芳治: FDG-PET が診断に有用であった抗 amphiphysin 抗体陽性 stiff-person 症候群の1例. *臨床神経学*, 48: 410-414, 2008.
- 6) 田口芳治: Painful tonic spasm に芍薬甘草草が有効であった多発性硬化症の1例. *漢方医学*, 32: 190, 2008.
- 7) 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎: 脳梗塞急性期の抗血栓療法中に cerebral microbleed より脳出血を発症した1例. *内科*, 102: 787, 2008.
- 8) 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎: 心原性脳塞栓における T2*強調画像と FLAIR 画像による閉塞血管の診断. *内科*, 102: 1016, 2008.

◆ 総説

- 1) 田中耕太郎: EPA を用いた臨床試験とその意義—JELIS を中心に. 分子脳血管病, 7: 59-65, 2008.
- 2) 田中耕太郎: シロスタゾールの大規模臨床試験. *CLINICIAN*, 55: 324-330, 2008.
- 3) 田中耕太郎, 北風政史, 井林雪郎, 内山真一郎, 岡田靖: 虚血部位で何が起きているのか?—脳虚血に対する阻害薬と血漿中アデノシンの協調作用の考察. *日経 Medical*, 484: 212-217, 2008.
- 4) 田中耕太郎: 脳卒中に関するギモン—脳保護薬の種類, 作用機序と有効性. *薬局*, 59: 2701-2708, 2008.
- 5) 田中耕太郎: Protection of neurovascular unit. *Brain Rescue*, 18: 12-15, 2008.
- 6) 田中耕太郎: 脳梗塞急性期の基礎病態. *救急・集中医療*, 7-8: 801-807, 2008.
- 7) 田中耕太郎: 脳梗塞後遺症対策の進歩. *Medical Science Digest*, 34: 404-407, 2008.
- 8) 田中耕太郎: 内服免疫調整薬 Fingolimod (FTY720) は多発性硬化症の再発を有意に抑制した. *Medical Briefs in Brain & Nerve*, 16: 8-9, 2008.
- 9) 高嶋修太郎: 虚血性脳血管障害—心原性脳梗塞症. *Clinical Neuroscience*, 26: 220-222, 2008.
- 10) 高嶋修太郎: 脳血管性認知症. *Modern Physician*, 28: 714-717, 2008.
- 11) 高嶋修太郎: 心房細動と心原性脳塞栓症の対応と実際. *Medical Practice*, 25: 2189-2194, 2008.
- 12) 田口芳治, 田中耕太郎: 島の損傷は喫煙依存を解消する. *Medical Briefs in Brain and Nerve*, 16: 14, 2008.

◆ 学会報告

- 1) Tanaka K., Ishikawa Y., Yokoyama M., Origasa H., Matsuzaki M., et al.: Relationship of ischemic stroke with serum lipid levels, and influence of plasma eicosapentaenoic acid (epa) (EPA) concentration in patients with hypercholesterolemia. 6th World Stroke Congress, 2008, 9, 26, Vienna, Austria.
- 2) Suzuki N., Hokin K., Terayama Y., Daida H., Uchiyama S., Goto S., Tanaka K., Minematsu T., et al. : Study design of prospective observational registry after stroke- Effective vascular event reduction after stroke (EVEREST). 6th World Stroke Congress, 2008, 9, 26, Vienna, Austria.
- 3) Takashima, S.: Recent advances in the diagnosis and management of parkinsonism. The 9th symposium of The Korean Medicine Association of Stroke, 9, 28, 2008, Seoul. (Invited lecture)

- 4) Taguchi Y., Takashima S., Takana K., Fukuda N., Ohara K., Nakagawa K., Hirai T. : Attenuation of left atrial function in patients with cardioembolic stroke caused by paroxysmal atrial fibrillation. The4th Korean-Japanese Joint Stroke Conference, 2008, 11, 22, Fukuoka.
- 5) 平野恒治*, 温井孝昌, 道具伸浩, 豊田茂郎, 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎 : 階段状に進行し, 病型診断に苦慮した心原性脳塞栓症の1例. 第120回日本神経学会東海北陸地方会, 2008, 3, 8, 名古屋.
- 6) 田中耕太郎 : 日常診療における脳卒中予防戦略—JELISの結果が導き出す意義—. 第33回日本脳卒中学会総会, 2008, 3, 20, 京都. (招待講演)
- 7) 田中耕太郎, 遠藤俊郎, 富山県 t-PA 研究会 : 富山県におけるアルテプラザー静注療法の現状と問題点, 第33回日本脳卒中学会総会, 2008, 3, 20, 京都.
- 8) 田口芳治, 高嶋修太郎, 温井孝昌, 平野恒治, 道具伸浩, 豊田茂郎, 松田 博, 田中耕太郎 : Cerebral microbleeds と血清 lipoprotein (a) を含めた背景因子の検討. 第33回日本脳卒中学会総会, 2008, 3, 20, 京都.
- 9) 豊田茂郎, 高嶋修太郎, 田口芳治, 道具伸浩, 平野恒治, 田中耕太郎 : 脳卒中治療ガイドラインの発表前後での急性期脳梗塞診療の比較. 第33回日本脳卒中学会総会, 2008, 3, 21, 京都.
- 10) 平野恒治*, 温井孝昌, 道具伸浩, 豊田茂郎, 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎 : 脳梗塞急性期患者における凝血分子マーカーの検討. 第33回日本脳卒中学会総会, 2008, 3, 21, 京都.
- 11) 田口芳治, 高嶋修太郎, 温井孝昌, 平野恒治, 道具伸浩, 豊田茂郎, 田中耕太郎 : 非弁膜症性心房細動による心原性脳塞栓症発症前の抗血栓療法の実態. 第105回日本内科学会総会, 2008, 4, 12, 東京.
- 12) 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎, 福田信之, 大原一将, 中川圭子, 平井忠和 : 発作性心房細動による心原性脳塞栓症の心エコー所見の検討 : 非心原性脳梗塞との比較 : 第27回神経超音波学会総会, 2008, 4, 24, 東京.
- 13) 高嶋修太郎, 豊田茂郎, 田中耕太郎, 富山県急性期脳梗塞共同調査委員会 : 脳卒中治療ガイドライン発表前後の急性期脳梗塞診療の共同調査. 第49回日本神経学会総会, 2008, 5, 15, 横浜.
- 14) 中道尚美, 高岩重輝子, 旭 雄士, 浜田秀雄, 遠藤俊郎, 高嶋修太郎, 田中耕太郎 : パーキンソン病に対する両側視床下核刺激術の認知機能および精神機能への影響. 第49回日本神経学会総会, 2008, 5, 15, 横浜.
- 15) 田口芳治, 高嶋修太郎, 温井孝昌, 平野恒治, 道具伸浩, 豊田茂郎, 田中耕太郎 : 筋萎縮性側索硬化症における大脳新皮質運動野の神経細胞密度の検討. 第49回日本神経学会総会, 2008, 5, 15, 横浜.
- 16) 大塚千久美, 寺山靖夫, 高橋一司, 鈴木則宏, 田中耕太郎, 吉井文均, 棚橋紀夫, 立花久大 : パーキンソン病患者の客観的・定量的 QOL 評価の試み. 第49回日本神経学会総会, 2008, 5, 16, 横浜.
- 17) 道具伸浩, 高嶋修太郎, 田口芳治, 豊田茂郎, 平野恒治, 温井孝昌, 田中耕太郎 : 抗 GQ1b 抗体陽性の脳幹脳炎の1例. 第121回日本神経学会東海北陸地方会, 2008, 6, 14, 金沢.
- 18) 田中耕太郎 : 脳梗塞慢性期の再発予防戦略—国内エビデンスをふまえて—. 第50回日本老年医学会学術集会, 2008, 6, 19, 千葉. (招待講演)
- 19) 温井孝昌, 田口芳治, 平野恒治, 道具伸浩, 豊田茂郎, 高嶋修太郎, 田中耕太郎 : 線維筋性形成異常症に合併した前大脳動脈解離の1例. 第46回北陸神経内科懇話会, 2008, 6, 21, 金沢.
- 20) 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎 : 脳梗塞患者急性期における骨代謝マーカーについての検討. 第50回日本老年医学会総会, 2008, 6, 20, 幕張.
- 21) 豊田茂郎, 高嶋修太郎, 温井孝昌, 平野恒治, 道具伸浩, 田口芳治, 田中耕太郎 : 神経症状で初発する悪性リンパ腫の診断に FDG-PET が有用である. 第26回日本神経治療学会総会, 2008, 6, 27, 横浜.
- 22) 温井孝昌, 田口芳治, 平野恒治, 道具伸浩, 豊田茂郎, 高嶋修太郎, 田中耕太郎 : 線維筋性形成異常症に合併した前大脳動脈解離の1例. 第206回日本内科学会北陸地方会, 2008, 9, 7, 福井.
- 23) 田口芳治, 高嶋修太郎, 温井孝昌, 平野恒治, 道具伸浩, 豊田茂郎, 田中耕太郎, 旭 雄士 : パーキンソン病における camptocormia に対する両側視床下核深部刺激療法の効果について. 第2回 MDSJ, 2008, 10, 4, 京都.
- 24) Tanaka K. : Advances in the research of cerebral blood flow and metabolism—From the past to the future. 第20回日本脳循環代謝学会総会 (Symposium ; Studies on cerebral blood flow and metabolism), 2008, 11, 6, 東京.
- 25) 田中耕太郎 : エビデンスから学ぶ脳卒中再発予防. 第20回日本脳循環代謝学会総会, 2008, 11, 7, 東京. (招待講演)
- 26) 田口芳治, 温井孝昌, 平野恒治, 道具伸浩, 豊田茂郎, 高嶋修太郎, 田中耕太郎 : Capsular warning syndrome を呈した branch athermatous disease の1例. 第122回日本神経学会東海北陸地方会, 2008, 11, 8, 富山.
- 27) 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎 : BPSD に対して塩酸ドネペジルが有効であった前頭葉側頭型認知症の1例. 第19回日本老年医学会北陸地方会, 2008, 11, 15, 富山.
- 28) 中道尚美, 高嶋修太郎, 高岩重輝子, 旭 雄士, 浜田秀雄, 田中耕太郎 : パーキンソン病の認知機能. 第32回日本

高次脳機能障害学会学術総会, 2008, 11, 20, 松山.

◆ その他

- 1) 高嶋修太郎: 脊髄小脳変性症の正しい理解. とやま SCD 友の会設立総会, 2008, 1, 24, 富山.
- 2) 田中耕太郎: Protection of neurovascular unit とは. 第3回 Stroke Prevention Forum, 2008, 1, 26, 東京.
- 3) 田中耕太郎: 急性期脳梗塞の病態と治療戦略. 第6回三重中央地区脳卒中懇話会, 2008, 1, 31, 津.
- 4) 田中耕太郎: Protection of neurovascular unit とは何か. Fighting vascular events in Shizuoka, 2008, 2, 2, 静岡.
- 5) 田中耕太郎: 脳血管障害の再発予防—最新のエビデンスから. Research Consortium for Stroke Prevention, 2008, 2, 9, 東京.
- 6) 田中耕太郎: 脳梗塞の再発予防戦略—JELIS 脳卒中サブ解析の結果から. 高崎市医師会学術講演会, 2008, 2, 15, 高崎.
- 7) 田口芳治, 高嶋修太郎, 豊田茂郎, 平野恒治, 道具伸浩, 温井孝昌, 田中耕太郎: 抗アクアポリン4抗体陽性で Long cord lesion を呈した多発性硬化症の2例. 第3回富山脊椎脊髄画像診断研究会, 2008, 2, 22, 富山.
- 8) 中道尚美, 高岩垂輝子, 高嶋修太郎, 田中耕太郎, 旭雄士, 遠藤俊郎: パーキンソン病の精神機能について. 第12回富山認知症研究会, 2008, 2, 23, 富山.
- 9) 田口芳治, 豊田茂郎, 温井孝昌, 平野恒治, 道具伸浩, 高嶋修太郎, 田中耕太郎: 当院におけるアボネックスの使用経験について. 富山県アボネックス記念講演会, 2008, 2, 29, 富山.
- 10) 道具伸浩, 温井孝昌, 平野恒治, 豊田茂郎, 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎, 旭雄士, 遠藤俊郎. 脳深部刺激療法を施行した AR-JP の1例. 第10回北陸神経疾患研究会, 2008, 3, 1, 金沢.
- 11) 高嶋修太郎: 神経難病の正しい理解. 難病療養相談会, 2008, 3, 5, 氷見.
- 12) 田中耕太郎: 脳梗塞急性期の病態と治療戦略. Fighting vascular events in Nagano V, 2008, 3, 8, 長野.
- 13) 田中耕太郎: エビデンスに基づく我が国の脳卒中予防戦略. 熊本脳梗塞再発予防研究会—これからの脳梗塞治療戦略, 2008, 5, 10, 熊本.
- 14) 田中耕太郎: エビデンスに基づく我が国の脳卒中予防戦略, 鳥取県東部地区 JELIS 講演会, 2008, 6, 13, 鳥取.
- 15) 高嶋修太郎: ALS の基礎知識—病気と上手につき合うために—. 平成20年度日本 ALS 協会富山県支部総会, 2008, 6, 15, 富山.
- 16) 高嶋修太郎: 認知症最前線—病態と治療と予防—. 平成20年度富山県いきいき長寿大学, 2008, 6, 20, 高岡.
- 17) 高嶋修太郎: 認知症最前線—病態と治療と予防—. 平成20年度富山県いきいき長寿大学, 2008, 6, 25, 富山.
- 18) 田中耕太郎: エビデンスに基づく我が国の脳卒中予防戦略. 秋田血栓症治療を考える会, 2008, 7, 4, 秋田.
- 19) 田中耕太郎: 急性期脳梗塞における脳保護療法の意義について. 第8回ブレイン・アタックフォーラム, 2008, 7, 12, 仙台.
- 20) 田中耕太郎: 脳梗塞の慢性期治療と抗血小板薬. プラビックス錠発売2周年記念セミナー, 2008, 7, 17, 大津.
- 21) 高嶋修太郎: 脊髄小脳変性症の在宅生活について. 脊髄小脳変性症療養相談会, 2008, 7, 18, 富山.
- 22) 田中耕太郎: エビデンスに基づく我が国の脳卒中予防戦略. 金沢動脈硬化性疾患フォーラム, 2008, 7, 19, 金沢.
- 23) 田中耕太郎: 心原性脳塞栓症の発症機序と予防戦略. 第7回県北脳卒中研究会, 2008, 7, 25, 大田原.
- 24) 田中耕太郎: エビデンスに基づく我が国の脳卒中予防戦略. 小松・加賀・能美脳卒中講演会, 2008, 9, 18, 小松.
- 25) 田口芳治, 久保道也, 松村内久, 柴田 孝, 栄楽直人, 黒崎邦和, 永尾征弥, 堀江幸男, 高嶋修太郎, 田中耕太郎: BPSD に対して塩酸ドネペジルが有効であった前頭側頭型認知症の1例. 第13回富山県認知症研究会, 2008, 9, 27, 富山.
- 26) 高嶋修太郎: 認知症と高齢者のうつについて. 平成20年度ホームヘルパー技術向上研修, 2008, 10, 3, 富山.
- 27) 道具伸浩, 高嶋修太郎, 田口芳治, 豊田茂郎, 平野恒治, 温井孝昌, 田中耕太郎: 外眼筋麻痺を伴わず, 脳波異常を認めた抗 GQ1b 抗体症候群の1例. 第35回 富山県臨床神経研究会, 2008, 10, 3, 富山.
- 28) 田口芳治, 温井孝昌, 平野恒治, 道具伸浩, 豊田茂郎, 高嶋修太郎, 田中耕太郎: Capsular warning syndrome を呈した Branch atheromatous disease の1例. 第24回富山県脳卒中研究会, 2008, 10, 10, 富山.
- 29) 田中耕太郎: 脳梗塞慢性期治療と抗血小板薬. 脳卒中 Step-up セミナー, 2008, 10, 11, 沖縄県北谷町.
- 30) 田中耕太郎: エビデンスに基づく我が国の脳卒中予防戦略. 脳血管セミナー2008「JELIS」Stroke 掲載記念講演会, 2008, 10, 3, 新潟.
- 31) 田中耕太郎: 急性期脳梗塞における脳保護療法の意義について. 第8回高知県脳卒中研究会, 2008, 10, 24, 高知.
- 32) 田中耕太郎: 脳梗塞再発予防に関する最新のエビデンス—血圧管理. 第20回神経疾患をまなぶ会, 2008, 10, 27, 富山.

- 33) 田中耕太郎：脳梗塞急性期の病態生理と治療－白質の立場を中心に．香川脳神経研究会（第2回定例会），2008, 10, 31, 高松.
- 34) 田中耕太郎：エビデンスに基づく我が国の脳卒中予防戦略．倉敷生活習慣病フォーラム－脳卒中予防戦略を考える，2008, 11, 20, 倉敷.
- 35) 田中耕太郎：パネルディスカッション「もし万一，脳卒中になってしまったら」．第3回脳卒中公開講座「脳卒中はごめんだ！」，2008, 11, 29, 富山.
- 36) 高嶋修太郎：基調講演「ストップ！脳卒中－脳卒中撲滅を目指して－」．第3回脳卒中公開講座「脳卒中はごめんだ！」，2008, 11, 29, 富山.